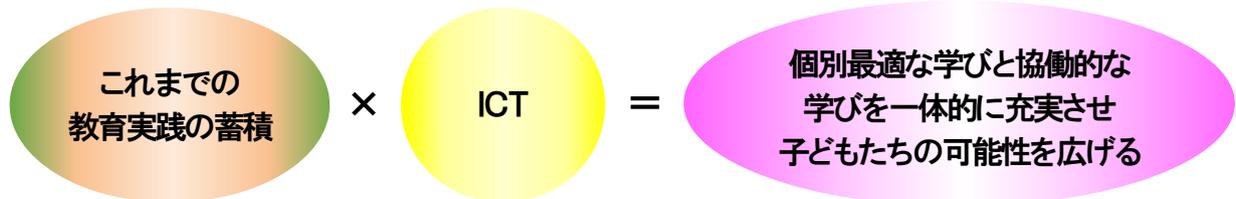


Ⅲ ～広がる教室 深まる学び～

「やまぐちスマートスクール構想」の推進

県教委では、全国に先駆けて整備した県立学校のICT環境を効果的に活用して教育活動の一層の充実を図るため、やまぐちスマートスクール構想をさらに推進し、次の3つの視点の学校づくりを進めていきます。

やまぐちスマートスクール構想



1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！

一人ひとりの教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や多様な意見に触れる協働学習を充実させ、「一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！」の実現をめざす。

- 1人1台タブレット端末等を活用した主体的な学びを実践！
- 統合型校務支援システムの導入！
- 全児童生徒へ一元化した情報配信！
- ICTスキルの向上やトップレベルの人材をめざす意識の醸成！
- 特別な支援を必要とする児童生徒の可能性を引き出すICT！
- 教員のICTを活用した指導力の向上！

2 海外・地域・他校とつながる学校！

海外の学校や遠隔地の学校等との交流を行うことで、新たな学びの機会を創出し、「海外・地域・他校とつながる学校！」の実現をめざす。

- 海外とのオンライン交流を実施！
- 全県合同のハイレベル課外授業を実施！
- 資格取得のためのオンライン講座を実施！

3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！

障害や入院等で通学できない児童生徒の学びを保障する環境を充実させ、「安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！」の実現をめざす。

- 通学できない児童生徒の学びを保障！
- オンライン教育相談体制を推進！

1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！

(単位：千円)

新 次世代の教育環境デジタル化推進事業

58,898

教育データを活用した学校運営や児童生徒一人ひとりに合った学びを支援するため、文部科学省が推奨するフルクラウド環境を構築して校務データと学習データを統合します。また、クラウドサービスの活用を校務に拡大することで、教職員の業務改善・働き方改革を一層推進します。

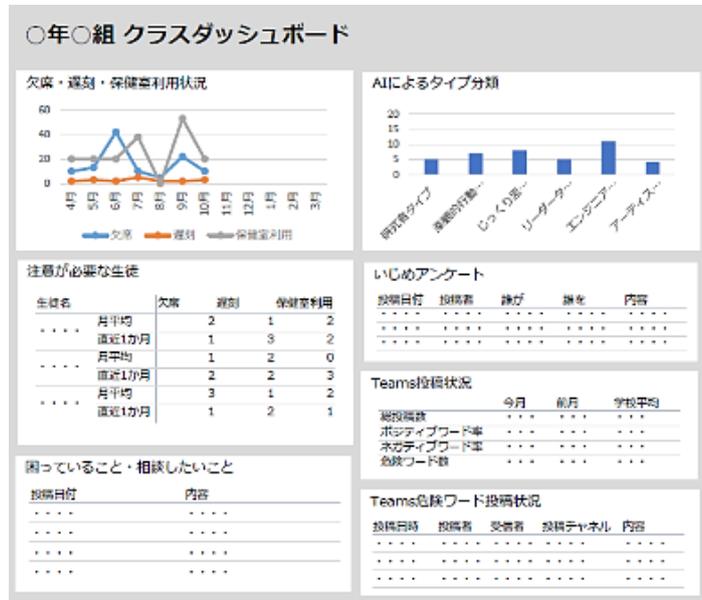
■教育データの活用

○教育ダッシュボードの構築

生活アンケートやクラウドアプリの利用データ、成績情報等の可視化・相関分析等を行う教育ダッシュボード（※様々なデータを一覧表示する画面）を構築し、児童生徒の主体的な学びの支援や誰一人取り残さない学びの実現に活用

○教育DX推進協議会の設置

校長級の教員が参加する協議会を設置し、強力な事業推進体制を構築



■フルクラウド環境の構築

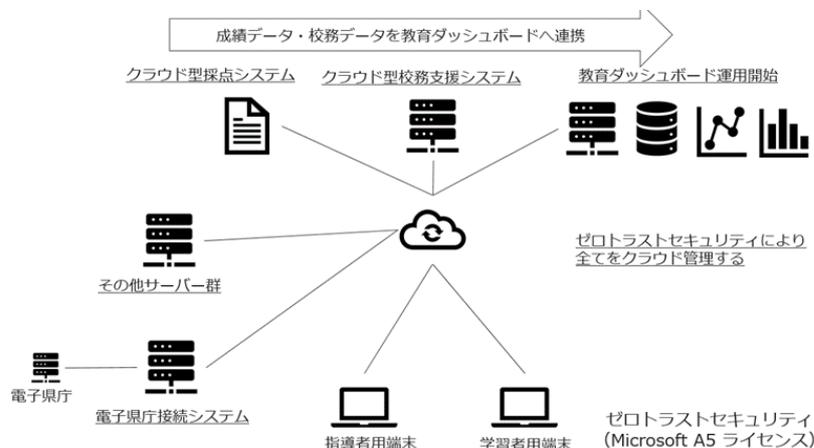
○クラウド型採点システムの導入

- ・民間の採点システムを導入し、定期考査等の採点時間の短縮と採点・集計ミスの軽減を図るとともに、採点結果をダッシュボードで可視化することで、よりきめ細かな学習指導を実現
- ・統合型校務支援システムと採点システムを連携させることで、成績データの管理に係る業務負担を軽減

○校務・学習データの統合準備

- ・文部科学省が推奨する次世代型のセキュリティ対策であるゼロトラストセキュリティを導入し、全国に先駆けて校務用ネットワークのクラウド環境への統合を推進

[統合後の学校における教育環境イメージ]



■端末の利活用促進

○リーディングDXスクール事業

- ・県立学校1校を拠点として、端末を校務や授業において効果的に活用する好事例を創出・モデル化し、全県へ展開

全ての県立学校に導入した1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」を推進するため、デジタル人材の育成や教員のICT活用指導力向上に取り組みます。

■ ICT支援員の派遣

○教員の日常的なICTの活用をサポートするICT支援員を配置し、学校へ定期的に派遣

拓 「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」の設置

- 教員から電話やオンライン等で問い合わせを受け付けるヘルプデスクを設置
- ICT支援員をサポートするスタッフを配置し、必要に応じて学校現場に派遣
- 教員やICT支援員に対する研修を実施
- 端末の故障対応や運用管理、年次更新等をサポート
- 県及び新たに加わる5市町による共同設置

■ 山口県教育ICT推進協議会での議論・実践

○県及び県内全市町教育委員会が参加する協議会において情報共有等を行い、域内のICT活用格差を解消

拓 やまぐちICT活用コンテストの開催

- ICTの活用促進やスキル向上等を図るため、小・中・高校生を対象としたコンテストを開催
- コンテストに向けて、アイデアの創出や応募作品の洗練を行うワークショップを開催

- [対 象] 小・中・高校生の個人又はグループ
 ※小・中学生はデジタルアートに加え、新たにプログラミング部門を開催
- [部 門] 学習コンテンツ：授業でのICT活用事例等のプレゼンテーション
 デジタルアート：ICTを活用したアート作品
 プログラミング：専門的なICT技術を活用したプログラミング
 DXチャレンジ：ICTを活用した社会変革につながる新しいアイデア



■ 高校生データサイエンティスト育成講座の開催

○デジタル人材を育成するため、高校生を対象としたセミナーを開催

- [対 象] 高校生
- [内 容] 基礎講座：AI及びプログラミングの基礎知識を実践形式で学習
 応用講座：前年度の基礎講座の修了者を対象とした発展的な講座



山口県学力定着状況確認問題をCBT（Computer Based Testing：コンピュータを使用した調査）で実施し、個別の学力の定着状況等の蓄積や、採点・集計業務の効率化を進めるとともに、やまぐち学習支援プログラムを活用して、児童生徒の学力定着状況に応じた指導や授業の充実を図ります。

■山口県学力定着状況確認問題のCBT化

○学力定着状況に応じた指導等の充実

- ・ 個別の学力の定着状況及び児童生徒質問紙調査の結果を蓄積したデータ（学びの履歴）の利活用
- ・ 採点、集計業務の効率化による結果の早期通知
- ・ 結果の早期通知を生かした迅速な分析、指導改善の取組への反映



○児童生徒のICT利活用の推進

- ・ 1人1台端末を活用した授業の促進
⇒児童生徒のデジタル読解力及び情報活用能力等の資質・能力の育成

■やまぐち学習支援プログラムの活用

- ・ 「やまぐちっ子学習プリント」で、基礎・基本の確実な定着及び思考力・判断力・表現力等を育成
- ・ 「学力分析支援ツール」を活用して、児童生徒の学力状況を把握、重点的な指導改善を促進

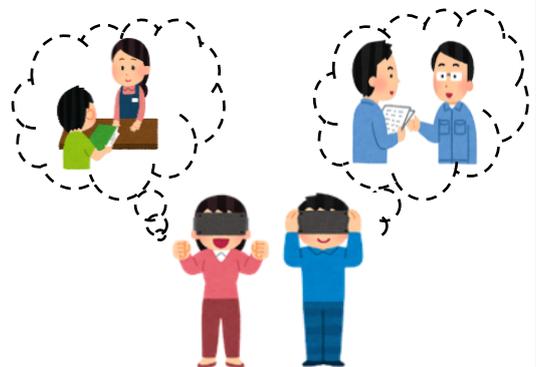
総合支援学校VR活用事業

先進的な技術の導入により、総合支援学校の児童生徒一人ひとりの障害の状態に応じた個別最適な学びの実現と、児童生徒の「自立と社会参加」を促進します。

- 学術機関、職場実習受入先等と連携し、社会体験学習に資するオリジナルVR動画を作成・活用
- 校外学習・職場体験用のオリジナルVR動画を作成し、体験的な事前・事後学習を実施

＜作成するVR動画の例＞

- ・ 公共交通機関の利用体験
- ・ 公共施設の利用体験
- ・ 職場体験 等



遊び・運動大好き！体力向上推進事業（一部）

運動が苦手な子どもを含む全ての子どもに、できる喜びを味わわせていくための体育・保健体育授業の在り方について、ICTを効果的に活用した実践研究を行い、子どもの運動習慣の改善力向上を図ります。

■1人1台タブレット端末活用に向けたモデル事業の展開

- 「ICT体育推進校」によるICTを効果的に活用した実践研究
1人1台タブレット端末等を活用し、自分の動きを即座に確認したり、技能のポイントと自分の動きを比較しながら話し合ったりするなど、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業研究

■教職員を対象としたICTの効果的な活用の推進に向けた研修

- 体育科・保健体育科におけるICTの活用を充実させていくための研修を実施



2 海外・地域・他校とつながる学校！

(単位：千円)

☎ やまぐちスマートスクール構想推進事業（一部）

8,209

1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用して、国際感覚の醸成や異文化への理解促進、英語のコミュニケーション能力の向上等を図るため、海外との遠隔授業等を推進します。

■時間と空間を超えた遠隔授業等の推進

○県立学校と海外の学校等をつないだ遠隔授業等の実施を支援するコーディネーターを学校へ派遣

[対 象] 県立学校 15校程度/年

[内 容] ・各学校の教育目標に合う交流先を紹介
・遠隔授業等の実施に向けた日程の調整や機材の準備、授業時のサポートを担当



明日のやまぐちを担う産業人材育成事業

4,332

ICT環境を活用した資格取得に向けたオンライン講座を実施し、学校の枠を越えた学びの場や学ぶ機会を創出します。

■資格取得のためのオンライン講座を実施

○1人1台タブレット端末等を活用して、複数校が同時に受講可能な資格取得に関するオンライン講座を実施

[内 容] 危険物取扱者、簿記、測量士補、フラワー装飾作業等

○デジタル化対応産業教育装置を活用した資格取得講座を実施

[内 容] 数値制御旋盤・マシニングセンタを活用した機械加工技能士の資格や、シーケンス制御実習装置を活用した電気機器組立技能士の資格等



実施校

- * 県立高等学校(職業に関する学科・総合学科)
- * 県立総合支援学校(就業実践科)

〇〇高校



講師

▽▽専門学校、(株)◇◇
やまぐちマイスター 等

オンライン講座

(Web会議システム)
実施校より参加校へ
配信

参加校

〇〇高校

△△商工高校

□□総合支援学校



将来の山口県を担う人材の育成に向け、最先端の研究の動向を踏まえた講義・演習やオンライン講座、ICTを活用して取り組むハイレベル課外授業等を実施し、高校生が学校の枠を越えて切磋琢磨する機会を創出します。

■アドバンスト・フロントランナー育成コース

○本県の課題解決に取り組み、将来を担う人材の育成に向け、選抜性の高い大学を志望する高校生の意欲と学力の向上 など

[対象] 県内高校生徒 60 名（1 年生 20 名程度、2 年生 25 名程度、3 年生 15 名程度）

[内容] ・SDG s 等をテーマとして有識者等による講義・演習を実施
 ・1 人 1 台タブレット端末を活用し、大学教授等によるオンライン講座を実施



■ドリカムゼミ

○大学進学に必要な高いレベルの知識・技能の習得

[対象] 県内高校生徒 120 名（1 年生 40 名程度、2 年生 50 名程度、3 年生 30 名程度）

[内容] ・全県合同のハイレベル課外授業を実施
 ・対面での講座に加え、1 人 1 台タブレット端末を活用して、オンライン講座を実施



1 人 1 台端末を効果的に活用して、来日直後の児童生徒が、日本の学校生活について必要な知識等を集中的に身に付けることができるようにする遠隔・オンラインによる日本語教育を推進します。

■NPO 法人との遠隔・オンライン日本語指導の実施

○日本語指導が必要な児童生徒を対象に、遠隔日本語教育に知見を有する民間団体によるオンライン日本語指導を実施

○対象児童生徒は、1 人 1 台端末を活用して、日本語レベルに適した双方向のオンライン日本語指導や学習支援講座を集中的に受講



【NPO 法人】



【オンライン】



【学校】



【実際の授業の様子】

3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！

(単位：千円)

教育ICT管理運営費（一部）

3,432

誰一人取り残すことのない個別最適な学びができるように、その基盤となるICT機器の提供を行います。

■分身ロボット等の活用

○障害や疾病等により通学が困難な児童生徒に学びの機会を保障するため分身ロボット等を活用



新 中学校及び高校0年生からの教育相談事業（一部）

4,433

いじめ・不登校等対策強化事業（一部）

7,970

いじめや不登校等、悩みを抱える児童生徒などに対して、オンラインを活用した広域的な支援体制を整備し、教育相談体制を強化することで、いじめや不登校の未然防止の充実を図る。

■1人1台タブレット端末を活用したオンライン教育相談

○スクールカウンセラーが勤務する公立中学校及び高校の生徒だけではなく、保護者からも子どもに関する悩みや相談を気軽に自宅から相談ができるように、スクールカウンセラーによるオンライン相談及びチャット相談を実施する。



国公立高校生奨学給付金事業（一部）

34,874

高等学校等に通う低所得世帯等の経済的負担の軽減を図るため、家庭でのオンライン学習に必要な通信費の一部を支給します。

■高校生等奨学給付金

[対象者] 道府県民税・市町村民税所得割額非課税世帯で国公立の高等学校（専攻科含む）、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在学する生徒

[支給対象] ICT端末の持ち帰り等への対応に伴う通信費（相当額を給付金単価に算入）

就学奨励費（一部）

16,836

特別支援学校に通う低所得世帯等の経済的負担の軽減を図るため、ICT機器等の学用品購入費や家庭でのオンライン学習に必要な通信費の一部を支給します。

■特別支援教育就学奨励費負担金等

[対象者] 特別支援学校に在籍する児童生徒の保護者等

[支給対象] 学用品として通常使用するICT機器の購入費（高等部のみ加算あり）

オンライン学習を実施した場合の保護者等が負担する通信費（支弁区分Iのみ）